プレーパーク レポート

第7号
2022年10月
小鹿野町

好きな物作るって楽しい！
いろいろつくってみたよ。

創作意欲が高まる大量の木材！

9月25日の開催では、「木であそぼう！」の回でした。大量の木材を前に創作意欲の高まる子ども達。

積み木のようにどんどんと重ねて遊ぶ子、特に何を作るでもなく無心で釘打ちをする子、イスやテーブル、剣などの武器をつくる子もいました。そしてノコギリで木材を切る作業は特に人気で多くの子どもたちが挑戦していました。

後半はモンキーブリッジやシャボン玉など他の遊びもたくさん展開していたこともあり、数人の大人たちが本気の木工作を楽しんでいる姿も見られました。

プレーパークは子どもも大人も遊びを手作りでき自由に過ごせる場所です。地域のみんなで力を合わせ、楽しみながら遊び場をつくっていきしょう！

プレーリーダー養成講座スケジュール

ぜひ、ご参加ください！

10月23日	11月27日	1月29日	2月26日
大人の関わり方	現場学習／ 大人の関わり方	リフレクション	現場学習／ 遊びの場づくり

遊びの様子

暑さの残る9月末ですが、真夏の厳しさは通り越し時折吹く風が心地よい一日でした。

10時の開始時間、村の広場にはたくさんのトンボが飛んでおり、子ども達は網を片手に駆け回って捕まえていました。虫を追いかける子どもの姿ってなんだか見ていて幸せな気持ちになるものです。そして、虫を追いかけている内に初対面同士の子どもたちがいつの間にか打ち解けて一緒に遊ぶ間柄になっていました。

木工エリアは道具の数も限られており、一度に多くの子どもが遊べないため、自然と他の遊びも広がり始めました。

何度か張っている木にロープをかけたモンキーブリッジづくりは居合わせた大人や子どもも一緒にロープを引っ張り手伝ってくれました。綱渡りや揺らし合い、鬼ごっこなどをロープの上でやっていました。

プレーリーダーが木の枝と毛糸で「ゴッドアイ」という飾りづくりを始めるとおもしろそうな雰囲気を察して次々と子どもたちが輪に加わっていました。

ハイライト

木工作って、大人はどうしてもうまく出来た「良い物」や、「意味のある何か」を作らせてあげたいという気持ちになってしまいがちです。

しかし、子ども達自身は「上手・下手」や「〇〇をつくる」いう大人の尺度とは違って、「楽しいか否か」や「ただ釘を打つ」「ただ木を切る」という状態であることが常です。

親御さんたちは良かれと思っての関わりでしょうが、ぜひ、子どもがやってみたいことをサポートする気持ち、そしてあわよくば自分自身は子どもとは別に楽しんじゃうぐらいの感覚で過ごして欲しいなとも思います。

今回の「木であそぼう！」では、親御さんたちだけでなく、

プレーリーダー養成講座を受講された「地域のおじちゃん&おばちゃん」も見守りを手伝ってくれていました。

「ここは好きな物つくって良い場所なんだよー。」という声掛けがあると、初めは何か意味ある物を作らなければと思っていたかもしれない子ども達もまずは手を動かして自分の感覚を頼りに徐々に自分のやりたいことを実現させていく姿が見られました。帰り際、満面の笑みでできた物を見せてくれましたよ。